

# 公益財団法人新潟県スポーツ協会

## 令和7年度 事業報告

### 第1章 総括

#### I 事業の総括

令和7年度は、「中期計画2023-2027」（以下「中期計画」という。）の3年目に当たり、中期計画においてミッションとビジョンを明確化した上で、その達成・実現に向けて定めた「重点施策」及び「公益スポーツ団体としての取組」を多面的・総合的に展開した各種事業の着実かつ効果的な実施に努めた。

また、改革推進期間の3年目であった中学運動部活動の地域展開については、県教育委員会等とも連携して、運営団体ミーティング等により地元での取組を促進するなど、子どもたちのスポーツ環境の再構築を総合的に支援した。

中期計画では、その進捗状況を毎年度把握するため、成果指標、活動指標を設定しているが、その3年目における達成状況は評価対象の26指標のうち、「順調」が16（61.6%）、「概ね順調」が2（7.7%）、「やや遅れている」が3（11.5%）、「遅れている」が5（19.2%）という結果であり、詳細は別に掲載のとおりである。

今後とも、引き続きスポーツ・インテグリティの強化に努めながら、本県スポーツの推進と競技力の向上などに取り組んでいく。

#### II トピックス

- 1 全国的に喫緊の課題である中学運動部活動の地域展開について、令和7年度は3年間の改革推進期間の3年目に当たり、当協会としては、学校部活動に代わる、より望ましい地域スポーツ環境を新たに整備する取組であるとして、その取組の円滑化に向け、6つの多様な事業を総合的に展開し、市町村や地域スポーツ団体による情報共有と課題解決のための場づくりなどの環境整備や支援活動に取り組んだ。
- 2 令和4年度から新たにスタートした「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」については、4年目の実績として、県内4会場で初年度の約2.7倍にあたる3,770名の参加者を数え、盛況に開催したところである。引き続き、趣旨に賛同いただくパートナー企業及び地域スポーツ関係団体や障害者スポーツ協会等と連携して、このプロジェクトを軌道に乗せ、安定的に持続していくよう取り組む。
- 3 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者として、適切かつ効率的な施設管理を行いながら、競技水準向上及び健康づくり活動を推進した。併せて、より一

層の「賑わい」の創出と「活性化」に努め、魅力ある施設として県民に認識されるよう取り組んだ。令和8年度からは、共同企業体（JV）による指定管理者となるが、引き続き、推進活動に取り組んでいく。

- 4 加盟団体とともに、新潟県のスポーツ・インテグリティを強化し、クリーンでフェアなスポーツの推進に取り組んだ。加盟団体におけるスポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況に係る自己説明とその公表について、今後とも着実にその割合を高めていく。

※数字は決算額、（ ）は予算額

## 第2章 事業内容

### I 重点施策

#### 第1 世代等を問わず、スポーツをもっと身近なものにする〔公益事業〕

＜県補助、県受託、JSP0受託、JSP0助成、toto助成、自主、その他＞

県民だれもが自ら望むスポーツを身近で生涯にわたって楽しむことができるよう、当協会に設置した「新潟県広域スポーツセンター」業務を中心として、地域スポーツの担い手である市町村スポーツ協会・スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）の育成をはじめ、地域におけるスポーツ環境の整備充実活動全般について支援した。

折しも、中学運動部活動の地域展開が令和5年度からの3年間を改革推進期間としており、喫緊かつ重大な課題であることから、その円滑化に向け重点的に支援した。

- 1 中学運動部活動の地域展開の円滑化及び新たな地域スポーツ推進体制の構築に向けた支援 12,978,399円（17,787,000円）

##### （1）地域スポーツ推進体制構築支援事業

中学運動部活動の地域展開が新たなフェーズに入ることから、市町村における運営団体の連携強化や質的向上を図る「運営団体ミーティング」や、競技団体と地域スポーツ団体等が連携して中学生世代を中心とした青少年の多様なスポーツ機会を確保するための「中学生世代の多様なスポーツ推進ミーティング」、加盟団体等の研修活動を支援する「地域スポーツ推進体制づくり支援活動」を実施するとともに、日本スポーツ協会のアシスタントマネジャー（マネジメント資格）を養成し、指導者の数の増加と質の向上を推進した。特に、令和7年度は、新潟県教育委員会から「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた指導者資格取得促進事業」を受託し、スポーツコーチングリーダー養成講習会を県内各地10会場で開催し、230名の公認指導者を新規に養成した。また、親子の運動機会創出活動をスポーツ体験キャラバンと連携して県内4会場で実施した。更に、総合型クラブの登録審査を行うとともに、地域のスポーツ環境の担い手となる諸団体と行政との連携強化を促進し、地域課題の解決に向けた取組の共有とその実践の促進を図るため、「地域スポーツ推進団体連絡会議・ワーキンググループ」を4回開催した。

## (2) 競技団体理事長・強化総括責任者会議の開催【再掲】

競技団体に対して、年3回の会議を通じて、傘下の加盟スポーツ団体への周知や協力要請等、地域の受け皿整備を促進した。

## (3) 公認スポーツ指導者コーチ1養成講習会の開催【一部再掲】

ジュニア指導に必要な「コーチ1」の取得を促進するため、7競技の養成講習会を開催した。

## 2 子どもの運動遊びや様々なスポーツを楽しむ機会の創出 3,520,300円(4,000,000円)

### (1) にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの推進

子どもたちの健やかな育成とスポーツの振興を図るため、パートナー企業の協賛と加盟団体等との連携を得て、スポーツ体験キャラバンを県内4会場で開催し、子どもたちに親子で楽しむ運動遊びや様々なスポーツに親しむ機会を提供し、3,770名の親子の参加を得た。また、このプロジェクトを通じてSDGsにも貢献した。

### (2) 運動遊びの機会創出及び支援

子どもたちに楽しい運動遊びの機会を提供するため、JSPO-ACPの普及促進や親子の運動機会創出活動を推進した。また、「こどもの運動指導実践研修会」を開催し、スポーツ指導者、保育士等のスキルアップを支援した。

## 3 総合型地域スポーツクラブの育成及び基盤強化の支援 4,569,290円(4,821,000円)

### (1) 登録・認証制度の運用及び中間支援組織機能の強化

令和4年度から運用開始された総合型クラブの登録・認証制度の運用を通じて、総合型クラブの質的な向上や創設を支援するとともに、本会の中間支援組織としての機能強化を図った。また、令和7年度から運用の認証制度（「部活動の地域展開タイプ」）において、新潟県から1クラブが認証を受けた。

### (2) 総合型地域スポーツクラブ育成事業

地域スポーツの担い手である総合型クラブの創設・育成及び質的向上と連携強化を図るため、総合型クラブ研修会を2回開催するとともに、第3期総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業（2年継続の2年次目）を実施し、専門家の知見を活用して、指定した3クラブの個別課題の解決に向けた取組を支援した。

### (3) クラブアドバイザーの配置

スポーツ振興くじ助成金（独立行政法人日本スポーツ振興センター）のクラブアドバイザー等配置事業を活用して、クラブアドバイザーを1名配置し、総合型クラブの育成と普及を図るとともに、自立的な運営の促進に向けた支援を担う中間支援組織の業務を推進した。

#### 4 スポーツ少年団の健全育成 14,333,362円(16,722,000円)

##### (1) 新潟県スポーツ少年団の運営

スポーツを通じて健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団の理念を踏まえ、第11次育成5か年計画と連動した取組を進めた。また、財政基盤強化のため令和7年度から登録料を改定した。

##### ア 登録数の拡大

県内全市町村におけるスポーツ少年団の設置・登録(妙高市・出雲崎町未登録)及び登録者(団員・指導者・役員・スタッフ)の増加を目指したが、団数・登録者数ともに減少した。

##### イ 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
市町村	28団	—
単位団	424団	△22団
指導者	1,233名	△17名
単位団役員・スタッフ	748名	△54名
県・市町村役員・スタッフ	136名	△3名
団員	8,642名	△462名
	男子 6,057名	△289名
	女子 2,585名	△173名

##### ウ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」(2万部発行)等により広報・情報提供を推進した。

##### エ 顕彰の実施

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰	単位団 2団
	登録者 4名
日本スポーツ少年団顕彰	市町村 三条市・聖籠町
	登録者 3名

##### オ 関連会議の開催・参加

新潟県スポーツ少年団の関連会議(総会・正・副本部長会議、表彰選考委員会、11専門部会等)を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに日本スポーツ少年団の諸会議及び北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会の会議に参加した。

会議名	期日	会場
総会		
第1回	令和7年5月30日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和8年3月3日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
正・副本部長会議	令和7年12月18日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

(2) 県大会等各種事業の実施 ※参加者数は新潟県の参加者数

ア 広域（地域）活動の支援

地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

イ 県大会の実施

第45回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会を開催した。

開催競技	期間	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン、柔道、空手道、軟式野球、サッカー、少林寺拳法、バレーボール、ミニバスケットボール	令和7年4月26日 ～10月13日	長岡市、上越市、三条市、小千谷市、村上市、魚沼市	2,272名

ウ 北信越ブロック事業の開催・参加

開催競技	期間	開催地	参加者数
第56回北信越ブロック スポーツ少年大会	令和7年9月13日 ～15日	妙高市	7名
第45回北信越ブロック スポーツ少年団 競技別交流大会	ミニバスケット ボール 令和7年9月13日 ～14日	石川県	17名
	卓球 令和7年9月20日 ～21日	石川県	参加者なし
	バドミントン 令和7年10月18日 ～19日	石川県	9名
	バレーボール 令和7年10月25日 ～26日	石川県	12名
エンジョイ！軟式野球フ ェスティバル2025北信越 大会	令和7年7月5日 ～6日	長野県	1団 24名

エ 全国交流大会等への派遣

開催競技	期間	開催地	参加者数
JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH 2025 SAGA	令和7年7月31日 ～8月3日	佐賀県	参加者なし
エンジョイ！軟式野球フ ェスティバル2025	令和7年8月8日 ～11日	三重県	北信越大会 敗退により 参加者なし

エンジョイ！剣道フェスティバル2026	令和8年3月27日 ～29日	大分県	小学生団体 指導者1名 団員5名 個人戦 中学生男女 各1名
エンジョイ！バレーボールフェスティバル2025	男子 令和7年12月25日 ～27日	京都府	北信越大会 敗退により 参加者なし
	女子 令和7年12月25日 ～28日	京都府	1チーム 指導者2名 団員10名

オ 国際交流活動

事業名	期間	派遣（受入）先	人数
第52回日独スポーツ少年団同時交流	令和7年7月30日 ～8月14日	ドイツ フランクフルト他	派遣なし
第52回日独スポーツ少年団同時交流中央事前研修会	令和7年5月17日 ～18日	オンライン	派遣なし
第52回日独スポーツ少年団同時交流北信越ブロック事前研修会	令和7年6月21日 ～22日	長野県 長野県スポーツ会館	派遣なし
第52回日独スポーツ少年団同時交流（受入）	令和7年8月8日 ～12日	新潟県（燕市）	11名

(3) 指導者の養成と資質向上の促進 ※参加者数は新潟県の参加者数

研修会等	期日	開催地	参加者数
スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会	令和7年10月4日	長岡市	47名
	令和7年11月1日	新潟市	39名
	令和7年12月6日	新潟市	46名
スタートコーチ（ジュニア・ユース）インストラクター再委嘱研修会	令和7年10月5日	東京都	3名
第8回ジュニアスポーツフォーラム	令和7年6月15日	東京都	2名
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	令和7年11月22日	長岡市	10名

新潟県スポーツ少年団 指導者研修会 (新潟県スポーツ協会 スポーツ・インテグリティ 研修会と兼ねて実施)	令和7年6月7日 ～8日	新潟市 長岡市	56名
JSP0-ACP講師講習会	令和7年8月23日 ～24日	東京都	3名
JSP0-ACP研修会 (JSP0主催)	令和7年8月30日	長岡市	24名
JSP0-ACP指導実践研修会	令和7年11月1日	三条市	25名

(4) リーダーの養成 ※参加者数は新潟県の参加者数

研修会等名称	期日	開催地	参加者数
新潟県スポーツ少年団 リーダー会総会	令和7年4月29日	長岡市	7名
シニア・リーダースクール	令和7年8月6日 ～9日	静岡県	参加者なし
全国スポーツ少年団 リーダー連絡会	令和7年11月15日	東京都	1名
北信越ブロックスポーツ 少年団リーダー研究大会	令和7年10月25日 ～26日	富山県	2名

5 市町村スポーツ・体育協会との連携【再掲】 一円(一円)

(1) 加盟団体連携会議の開催

(2) 地域スポーツ推進体制構築支援事業

市町村スポーツ・体育協会が、各地域において引き続き重要なスポーツ推進機能を発揮していくよう、様々な機会を通じて適切な情報提供・共有を進め、連携を深めた。

6 健康づくりの推進 136,787,624円(103,967,000円)

(1) 健康づくり実践指導事業

県民全体の健康寿命の更なる延伸を目指して、新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの機能の活用により、健康づくり実践指導事業を積極的に推進し、生涯にわたり健康と体力を継続的に維持増進できるよう支援した。

事業名	内容	参加者数	前年度比
生活習慣しっかり改善コース	健康づくりのモデルコースとして実施し、有益なデータや取組事例を蓄積・発信した。	1,226名	123.6%

親子コース	健やかな生活習慣の基礎を確立できる「親子健康づくりプログラム」の開発を目指し、小児科医の講話、運動・調理体験などをテーマに親子で絆を深めながら一緒に学べるモデルコースを開催した。	166名	98.8%
健康づくり実践指導者研修会	健康づくり活動を実践的に指導できる指導者の人材育成を図るため、改善コースと親子コースへのコース参加型と指導者ニーズ対応型の研修を実施した。	307名	122.3%
個別プログラムサービス	健康づくりに取り組みたい方を対象に、生涯にわたり健康と体力を継続的に維持増進できるよう支援した。また、フィットネスホール利用者の長期的な利用を促進した。	1,288名	115.6%
健康づくりのための運動指導者研修会	生活習慣病予防対策として運動習慣の普及・定着を推進するため、研修会を開催し、健康づくり指導者等の資質の向上を図った。	73名	84.9%
ケアコンディショニングサポート事業	健康的な生活を送り学校部活動に活用する能力・意識を高めるため、児童・生徒を対象に、「運動・栄養・休養の理解と実践及び体力の簡易測定」を実施した。	187名	31.8%
合計		3,247名	101.5%

## (2) 施設（フィットネスホール、研修室等）の活用促進

施設名	内容	利用者数	前年度比
フィットネスホール	県民の運動習慣を促進するため、各種事業との連携を図り、定期券や回数券を発行するなど利用者のニーズに対応し長期的、継続的な利用の促進を図った。	22,275名	112.5%
研修室等	メディアの活用や、公共施設・デンカビッグスワンスタジアムとの連携により、研修室等の認知度を高めるとともに、設備機器などの利用者ニーズに対応した。	7,554名	168.7%
合計		29,829名	122.9%

## (3) スポーツと健康づくりの情報発信

ウェブサイトやリーフレット等広報媒体を活用し、スポーツと健康づくりに関連した情報発信に努めた。

#### (4) 県民講座の開催

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室、専門者向けの講習会等を開催した。また、センターの賑わい創出を図るイベントを開催した。

内容（開催数）	参加者数	前年度比
一般講座（46回）	829名	108.8%
専門講座（0回）	—	—
にぎわいイベント（3回）	746名	51.7%
合計	1,575名	70.1%

#### (5) 診療所の運営

新潟大学医学部及び県内医療機関との病診連携により診療の充実に努め、県民のスポーツや健康づくり活動を医学的見地から支援した。

内科	体力測定及び生活習慣しっかり改善コース、個別プログラムサービス受講者の医学検査を通じた健康支援と生活習慣病、運動喘息等の外来診療を行い、競技選手や健康づくり実践者の早期回復、早期復帰を支援した。
整形外科、リハビリテーション科	スポーツによる障害・外傷とロコモティブシンドローム等の外来診療を行い、競技選手や健康づくり実践者の早期回復、早期復帰を支援した。

内容		利用者数	前年度比
内科	体力測定医学検査	520名	83.9%
	健康づくり医学検査	225名	115.4%
	小計	745名	91.4%
整形外科外来診療		1,832名	109.6%
リハビリテーション外来診療		1,436名	111.1%
自主事業内科外来診療		237名	106.8%
合計		4,250名	106.2%

#### (6) 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として愛媛県において開催された「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」（実施競技13競技）に本県から8競技111名が参加した。

## 7 新潟県広域スポーツセンター事業の推進 12,634,870円 (12,561,000円)

### (1) 新潟県広域スポーツセンターの運営等

新潟県スポーツ推進プラン(平成28年3月策定)に基づき当協会に設置された「新潟県広域スポーツセンター」を運営し、県民一人ひとりが日常生活にスポーツを取り入れる社会の実現を図るために、スポーツと地域活性化の好循環創出事業、総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業、総合型地域スポーツクラブ育成事業、地域スポーツ人材養成事業を推進した。また、新潟県スポーツ施設協会の運営及びスポーツ関連の各種アンケート・調査、統計資料の作成などを行い、新潟県広域スポーツセンターウェブサイトによりスポーツ情報の収集・発信を行った。

## 第2 スポーツと地域活性化の好循環の仕組みをつくる〔公益事業〕

### <県受託>

地域資源を活かしたスポーツの推進や他県からのスポーツ合宿の誘致、スポーツツーリズムなど、スポーツによる地域活性化の取組を支援した。

### 1 地域資源を活かしたスポーツの推進による地域活性化の取組の支援【再掲】

一円(一円)

#### (1) スポーツと地域活性化の好循環創出事業

県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくりに取り組む活動の支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進する第4期(2年継続の初年度)事業を実施した。

指定団体	活動概要
県央スポーツネットワーク	三条市・燕市スポーツ協会が協働でマルチスポーツの視点を取り入れた運動あそび教室や指導者研修会を開催したほか、横浜市での先進事例視察を通じて、持続可能な新たなビジネスモデル構築を模索し、地域での連携強化を図った。
新潟県自転車競技連盟	プロチームを招いたセミナーやキッズスクールを開催し、具体的な技術指導を受けた。富山県や栃木県の先進事例を視察し、ジュニア育成、地域密着型の普及活動や安全教育のノウハウを得て、指導体制や普及活動の改善に向けた成果を得た。
新潟県山岳協会	上越市で小・中学生リード大会を開催し、広域からの参加促進や地域との連携を推進した。外部からのセッター招聘により課題設定のノウハウ取得に努めるとともに、参加者アンケートで大会運営の課題や成果を検証した。

### 第3 トップアスリートの育成を目指し、本県競技力を向上させる〔公益事業〕

＜県補助、県受託、JSP0受託、自主、その他＞

世界に羽ばたくトップアスリートのより多くの育成を目指し、加盟競技団体・学校体育団体等と連携し、スポーツ医科学の知見も踏まえた一貫した指導体制のもと、ジュニア期からトップレベルへと育成していくとともに、県内企業・団体等における社会人アスリートの雇用を促進・拡大し、その生活基盤を安定させることで県内定着を図った。

#### 1 オリンピック出場が期待できるトップアスリートの強化活動の支援

20,000,000円 (20,000,000円)

##### (1) オリンピックアスリート夢チャレンジ事業

強化指定選手等の国内外の遠征や強化活動に対して支援を行った。

夏季：A指定11名（4競技9種目）、B指定8名（6競技8種目）

冬季：A指定8名（2競技6種目）、B指定15名（2競技5種目）

#### 2 ジュニア選手の強化活動の支援、実績豊富な指導者の配置

64,339,846円 (68,119,000円)

##### (1) 新潟ジュニア育成事業

競技団体が小・中学生を対象として行う競技人口の拡大のための体験会や、ジュニア選手（小学生・中学生）を対象とした計画的・継続的な強化活動の実施により、国スポ等の全国大会で活躍できる競技力の向上やトップアスリートの育成を図った。（38競技）

なお、79国スポにおいて少年種別は40.5の入賞数であった。

※スキー女子クロスカンントリーレーは、成年女子と少年女子で0.5ずつ按分

##### (2) 育成指導者配置事業

競技力向上を図ることのできる競技に優秀な実績を有する指導者を配置し、8競技9名が国スポ選手やジュニア選手に対して指導を行った。

##### (3) 高等学校体育連盟助成金

（公財）日本スポーツ協会のオフィシャルパートナーである大塚製薬（株）が実施する「推進費付き自動販売機設置事業」を活用し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を新潟県高等学校体育連盟へ活動助成金として交付した。

#### 3 国スポ候補選手の強化活動や強化スタッフの派遣及びトップコーチの招へいの支援

81,630,833円 (82,285,000円)

##### (1) 国スポ強化事業

本年度の国スポ候補選手の強化活動を支援し、本県競技力の向上を図った。

<第79回国民スポーツ大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	156.0点	8位	58.0点	10位
本大会	751.5点	36位	484.0点	37位
合計	907.5点	28位	542.0点	31位

<第79回国民スポーツ大会入賞数>

競技・種別	成年種別		少年種別		合計	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人
男子	4	30	3	23	7	53
女子	4	13.5	4	10.5	8	24
合計	8	43.5	7	33.5	15	77
	51.5		40.5		92	

※スキークロスカントリーリレーは、成年女子と少年女子に0.5ずつ按分

<第80回国民スポーツ大会冬季大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	137.0点	8位	48.0点	15位

<第80回国民スポーツ大会冬季大会入賞数>

競技・種別	成年種別		少年種別		合計	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人
男子	0	11	1	5	1	16
女子	0	4.5	0	1.5	0	6
合計	0	15.5	1	6.5	1	22
	15.5		7.5		23	

※スキークロスカントリーリレーは、成年女子と少年女子に0.5ずつ按分

(2) 強化スタッフ支援事業

国スポに支援コーチ等を派遣し競技成績の向上を図るほか、強化活動現場へスポーツドクター、トレーナー等27競技延べ126名を派遣することで、障害予防やコンディション調整等を行い、本県競技力の向上を図った。

(3) トップコーチ等招へい事業

豊富な知識と経験を有し、高度な技術や戦術を指導・助言ができる延べ13名（7競技）のトップコーチを国内外から招へいすることで、全国やオリンピック等世界で活躍できる選手を育成するとともに、本県指導者の資質向上を図った。

#### (4) 国民スポーツ大会への本県選手団の派遣

第46回北信越国民スポーツ大会及び第79回国民スポーツ大会本大会並びに第80回国民スポーツ冬季大会に本県選手団を派遣した。

大会名	会期	開催地	派遣人数
第46回北信越国民スポーツ大会	令和7年8月22日 ～24日	富山県	812名
第79回国民スポーツ大会本大会	令和7年9月28日 ～10月8日	滋賀県	508名
第80回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	令和8年1月31日 ～2月8日	青森県	13名
第80回国民スポーツ大会冬季大会 スキー競技会	令和8年2月14日 ～17日	青森県	92名
第80回国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和7年12月12日 ～14日	愛知県	28名
第80回国民スポーツ大会冬季大会 フィギュア競技予選会	令和7年11月29日 ～30日	滋賀県	10名

#### <第79回国民スポーツ大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	156.0点	8位	58.0点	10位
本大会	751.5点	36位	484.0点	37位
合計	907.5点	28位	542.0点	31位

#### <第80回国民スポーツ大会冬季大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	137.0点	8位	48.0点	15位

#### (5) 国スポユニフォーム購入補助事業

本県を代表する国スポ県選手団が着用する選手団ユニフォームの購入費の一部を19団体へ補助した。

### 4 社会人スポーツの推進、企業等と選手をつなぎ、U・Iターンを含めた県内定着の促進 7,304,702円(7,555,000円)

#### (1) 社会人・企業スポーツ指定強化事業

社会人競技スポーツに積極的に取り組んでいる企業、団体の強化活動等を支援し、本県の社会人スポーツの振興を図った。

## (2) 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営

社会人・企業スポーツの振興のため、新潟県社会人スポーツ推進協議会を運営するとともに、協議会活動の周知及び優秀選手・指導者の定着を促進するため、会員企業等から協賛金を募り企業とアスリートの相互の情報交換を行い、スポーツを通じた社会貢献や地域活性化のための講演会を行った。また、会員企業に選手6名の雇用に繋がった。

会議名	期日	会場
総会	令和7年6月11日	万代シルバーホテル
幹事会		
第1回	令和7年6月11日	万代シルバーホテル
第2回	令和7年10月27日	デンカビッグスワンスタジアム
第3回	令和8年3月12日	デンカビッグスワンスタジアム
講演会	令和7年6月11日	万代シルバーホテル
企業・アスリート合同講演会 ※協賛金をもって3回開催	令和7年8月6日 令和7年11月10日 令和8年2月18日	ホテルイタリア軒 ホテルイタリア軒 ホテルイタリア軒

## (3) コーディネーター配置事業

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためにコーディネーターを配置した。

## 5 公認スポーツ指導者の養成 2,030,163円 (1,798,000円)

### (1) 公認スポーツ指導者養成講習会の開催

(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づき、水泳競技コーチ1 (独自)、バドミントン競技コーチ1 (独自)、卓球競技コーチ1 (独自)、軟式野球コーチ1、バレーボールコーチ1、ソフトテニスコーチ1、なぎなたコーチ1の養成講習会を開催した。また、コーチ3 (中央競技団体が養成講習会を開催) については、県内17名 (12競技) が受講した。

<コーチ1>

開催競技	期日	会場	参加者数
軟式野球	令和7年11月29日・30日 ・12月6日	HARD OFF ECOスタジアム新潟	47名
バレーボール	令和7年8月30日	新発田中央高等学校	51名
	令和7年8月31日	新潟県立新発田高等学校	
	令和7年9月23日	北越高等学校	
ソフトテニス	令和7年10月26日	五泉市福祉会館	39名
	令和7年12月6日・7日	スポーツランド燕	

なぎなた	令和7年11月1日・2日 ・3日	柏崎市武道館	8名
水泳	令和7年7月6日	柏崎市中央地区コミュニティセンター	8名
	令和7年9月7日	ダイエープロビスフェニックスプール	
	令和7年9月21日	アクシー中央	
	令和7年11月2日	ダイエープロビスフェニックスプール	
バドミントン	令和7年10月4日・5日	新潟県立白根高等学校	14名
卓球	令和7年8月29日・30日 ・31日	新潟市新津健康センター	35名

<コーチ3>

開催競技	期日	会場	参加者数
軟式野球	令和7年11月8日 ～12月10日	明治神宮外苑室内球技他	1名
陸上	令和7年11月22日～ 令和8年1月11日	味の素ナショナルトレーニングセンター	1名
カヌー	令和7年11月	滋賀県大津市	2名
飛込	令和7年10月29日 ～11月12日他	オンライン	1名
競泳	令和7年10月29日 ～11月12日他	オンライン	1名
アーティスティックスイミング	令和7年10月29日 ～11月12日他	オンライン	1名
体操	令和7年12月20日 ～12月24日	味の素ナショナルトレーニングセンター、 国立スポーツ科学センター	3名
新体操	令和7年11月	国立スポーツ科学センター他	2名
トランポリン	令和7年12月20日 ～12月24日	国立スポーツ科学センター他	1名
ラグビーフットボール	令和7年7月12日 ～7月13日他	立正大学熊谷キャンパス他	1名
スケート	令和7年7月他	青森県八戸市他	1名
スケートボード	令和7年8月他	東京都中央区他	2名

## (2) スポーツ指導者研修会の開催

スポーツ指導者の資質を向上するため、「選手と指導者に必要なスポーツメンタルトレーニング」「言葉かけひとつでスポーツはもっと楽しくなる！～本領発揮！選手のやる気を引き出すペップトーク～」を研修テーマとして開催した。

期日	会場	参加者数
令和8年2月23日	新潟テルサ	122名

## 6 体力測定・動作分析等のスポーツ医科学機能の十分な発揮による選手強化の支援

83,166,942円 (69,626,000円)

### (1) 競技水準向上事業

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの有する機能を十分に活用して、競技力の向上を図った。

事業名	内容	利用者数	対前年比
体力測定	医学検査や筋力等の測定を踏まえ、基礎的・専門的な体力の把握とトレーニング内容及び方向性を検討した。	638名	86.8%
スポーツ動作分析	技術習得過程にあるジュニア競技者のスポーツ動作を評価し、競技力の向上を図る。出張撮影等、利用者ニーズに対応した。	208名	80.3%
競技力向上相談	新たなトレーニング方法の導入や、栄養、メンタル等について専門的なサポートを行った。	1,651名	100.5%

### (2) スポーツ医科学サポート補助事業

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターにおいて、国スポ候補選手及びジュニア選手等が実施する体力測定、スポーツ動作分析等の利用料金を補助した。

内容	医科学サポート補助対象者	
	利用者数 (利用比)	前年度比
体力測定	286名 (44.8%)	83.6%
スポーツ動作分析	156名 (75.0%)	70.6%
競技力向上相談	105名 (6.4%)	166.7%
合計	547名 (21.9%)	87.4%

## 7 競技水準向上対策運營業務の推進 39,223,581円 (38,862,000円)

### (1) 競技水準向上対策事業の推進

関係諸会議の開催をはじめ、全国情勢の把握、国スポ等への視察と激励、競技結果等の調査分析と競技団体への個別ヒアリング・指導などを行った。

会議名	期日	会場
国スポ実施競技団体理事長・強化総括責任者会議 第1回 第2回 第3回	令和7年6月28日 令和7年11月9日 令和8年3月15日	新潟ユニゾンプラザ 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
国民スポーツ大会 監督会議・結団式	令和7年9月6日	新潟ユニゾンプラザ
競技団体ヒアリング	令和7年10月31日 ～12月23日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

## II 公益スポーツ団体としての取組

### 第1 スポーツ・インテグリティを強化する [公益事業]

＜県補助、JSP0受託、自主＞

新潟県のスポーツ文化の健全な発展のため、当協会及び加盟団体等におけるスポーツ・インテグリティの確保・強化に向けて、クリーンでフェア、安全で安心なスポーツ環境の整備に努めた。

#### 1 スポーツ・インテグリティ強化への取組 835,701円 (1,569,000円)

##### (1) スポーツ・インテグリティ推進事業

スポーツ・インテグリティを確保・強化するための研修会を3回開催するとともに、加盟団体等が実施する研修会に9件補助した。

研修会 (直接開催)	期日	会場
第1回	令和7年6月7日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和7年6月8日	長岡市さいわいプラザ
第3回	令和8年3月6日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

##### (2) アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

アンチ・ドーピングの普及・啓発活動を推進するため講習会を開催するとともに、体力測定利用者への啓発を行った。

#### 2 スポーツ団体ガバナンスコード遵守への取組

##### (1) 加盟団体連携会議の開催【再掲】

## (2) 競技団体理事長・強化総括責任者会議の開催【再掲】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>の遵守、特に自己説明の公表に向けて、各種会議等の場を活用するなどして、加盟団体の取組を促進した。

また、当協会として直ちに遵守することが困難な規定、特に女性理事割合の向上については、設定した目標達成のために具体的な方策を検討・実施した。

## 第2 スポーツ推進環境を整備する [公益事業]

### <県補助・自主・その他>

スポーツの啓発や、安心なスポーツ環境づくりなどを通じて、スポーツ推進環境の整備に取り組んだ。

#### 1 スポーツの啓発・推進 1,113,542円 (986,000円)

##### (1) 地域スポーツ人材養成事業

地域におけるスポーツ人材養成のためのセミナーを集合形式・オンライン形式で各1回実施した。

演題等	期日
スポーツ団体がゼロからはじめるクラウドファンディング入門講座 (オンライン)	令和8年2月25日
こどもの運動指導実践研修会 (三条市栄体育館)	令和8年3月7日

##### (2) 表彰の実施

委員会名	期日	会場
表彰選考委員会	令和7年11月4日	デンカビッグスワンスタジアム

#### 表彰受賞者 (敬称略)

表彰名	氏名	所属・推薦団体	表彰式 期日・会場
スポーツ栄光賞	郡 菜々佳 水谷 彩奈 古俣 聖 須貝 龍 滝沢 育矢 坂井 冠太 富田 せな 中井 亜美	サトウ食品アルビレックスRC 日本体育大学 株式会社本間組 チームクレブ 早稲田大学 専修大学 宇佐美SC 勇志国際高等学校	令和7年 12月20日  アートホテル 新潟駅前
	スポーツ功労者賞	坂上 昭 保坂 和則	

優秀指導者賞	小林 志郎 筈井 翔太 篠田 大夢 近藤 優	(一財)新潟陸上競技協会 (一財)新潟県水泳連盟 (一財)新潟県水泳連盟 (一財)新潟県水泳連盟	
公認スポーツ指導者賞	沢井 晶子	(一財)新潟県水泳連盟	
優秀競技者賞	47名	7団体	
奨励競技者賞	3名	2団体	
特別賞	本間 達郎	株式会社本間組	

### (3) 協会ウェブサイトの運営

スポーツ情報及び当協会の活動内容等の情報発信と、公益法人としての情報公開に努めた。

## 2 安心なスポーツ環境づくり 4,495,000円 (4,495,000円)

### (1) スポーツ安全保険の普及

スポーツ安全保険の普及奨励やスポーツ活動等の安全指導の取組を充実するため、普及広報活動を実施した。

## 3 加盟団体との連携強化 0円 (43,000円)

### (1) 加盟団体連携会議の開催

加盟団体との連携を強化するための会議は開催しなかったが、適宜加盟団体に対して情報提供を行った。

## 第3 創立100周年に向けて準備する [公益事業] ([法人事業] 分を除く)

### <自主・その他>

創立100周年記念事業実施期間である令和8年度に向けて、令和7年度は準備期間として各種プレ記念事業を実施した。

## 1 創立100周年に向けて 4,206,516円 (11,614,000円)

### (1) 創立100周年記念事業実行委員会・部会の運営

創立100周年記念事業実行委員会・部会のもとで「創立100周年記念事業実施計画」を改定するとともに、創立100周年記念事業の検討を進めた。

会議名	期日	会場
創立100周年記念 事業実行委員会		
第1回	令和7年6月4日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和7年12月12日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第3回	令和8年3月5日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

## (2) 各種プレ記念事業の実施

創立100周年記念事業の実施に向けて、「にいがたスポーツ100年募金」を開始するとともに、横断幕の新調、記念カレンダー2026「にいがたの企業スポーツ」の制作・配布、アスリート・トークショーの開催などを実施した。

## 第4 人員体制及び財政基盤を持続的に強化する [法人事業]

<自主>

当協会の人員体制の強化に向けて、人材育成に取り組んだ。

また、当協会の財政基盤について、企業協賛事業の積極展開などにより自主財源の安定的確保を図るなど、持続的な強化に取り組んだ。

### 1 人材確保と資質の向上 一円（一円）

#### (1) 職員の資質・能力向上の取組【一部再掲】

「人材育成基本方針」に基づき、職員の確保及び個々の資質・能力の向上と職場の活性化に向け、OJTの充実を基本としつつ、スポーツ・インテグリティ研修会をはじめ、外部研修の活用など、人材育成に組織的に取り組んだ。

### 2 財務の健全性の維持及び自主財源確保に向けた取組 一円（一円）

#### (1) 財務の健全性、自主財源の確保その他

賛助会費や寄附金の安定化に向けて、効果的な方策を検討し、適切な資金運用により着実な収益確保に努めたほか、公益財団法人日本スポーツ協会の補助・委託事業を積極的に活用し、各種事業の充実と財政基盤の強化に努めた。これらの取組により、正味財産比率（正味財産合計／資産合計）は、前年度比1.0ポイント増加して86.4%となった。

#### (2) にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの推進【再掲】

趣旨に賛同いただいたパートナー企業の協賛を得て行う「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」の4年目に当たり、これまでの実績・ノウハウ等を踏まえて持続可能な事業として定着させるよう、企業協賛金4,400千円を目標としたところ、3,905千円を獲得した。

## 第5 適切な組織運営その他 [法人事業、収益事業]

＜自主、その他＞

公益スポーツ団体として、また、県内唯一のスポーツ統括団体として適切な組織運営を確保するための諸事業を行い、スポーツ推進を通じてSDGsへの貢献に努めた。

### 1 適切な組織運営等 18,115,505円 (15,650,000円)

#### (1) 理事会、評議員会の開催

会議名	期日	会場
評議員会 定時	令和7年6月25日	万代シルバーホテル
決議の省略の方法による	令和7年10月31日	—
臨時	令和8年3月19日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
理事会 第1回	令和7年6月4日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和7年6月25日	万代シルバーホテル
第3回	令和7年8月28日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第4回	令和7年12月12日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第5回	令和8年3月5日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

#### (2) 専門委員会の開催

令和7年度は、専門委員会を開催しなかった。

#### (3) 加盟団体等との連携強化

加盟団体をはじめ、賛助会員等、広く当協会を支援くださる方々との親交や連携を深めるため、プレ創立100周年として次の諸事業を開催した。

事業名	期日	会場
ゴルフ大会 (プレ創立100周年)	令和7年7月25日	ヨネックスカントリークラブ
新年会 (プレ創立100周年)	令和8年1月17日	ANAクラウンプラザホテル新潟

### 2 SDGsへの貢献 ー円 (ー円)

#### (1) にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの推進【再掲】

スポーツの持つ力がSDGsの達成に貢献しうる効果的な手段であることに着目し、上記をはじめ諸事業を通じて参加者や関係者とともに、その取組を広げ、目標達成に貢献した。

3 収益事業 2,719,254円 (6,072,000円)

(1) 施設貸出事業

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの研修室等利用のうち、公益目的に該当しない利用目的で貸出している研修室等について管理運営した。